

○海洋開発分野でユーザーとなる石油会社・エンジニアリング会社がコスト削減等を進める中、これらのユーザーのニーズに対応し、海洋開発分野の市場獲得と付加価値ビジネスの実現を果たすため、パッケージ化や低コスト化に貢献する製品等を技術力を結集して開発する取組みを支援する。(1/2補助)

背景

海洋開発に用いられる船舶

1. 探査船
2. 掘削船
3. 浮体式石油生産貯蔵積出設備 (FPSO)
4. シヤトルタンカー
5. 支援船
6. 浮体式貯蔵設備 (FSRU)

ROV/AUV 海中作業 海底油田

浮体式石油生産貯蔵積出設備 (FPSO) の価格

海洋開発産業概論第1版より

1,000億円超
(大型タンカーは100億円程度)

FPSOの費用内訳

搭載機器	30%
エンジニアリング・設計	30%
船殻建造	30%
係留設備・ライザー管	10%

○海洋開発分野は**今後の成長市場**

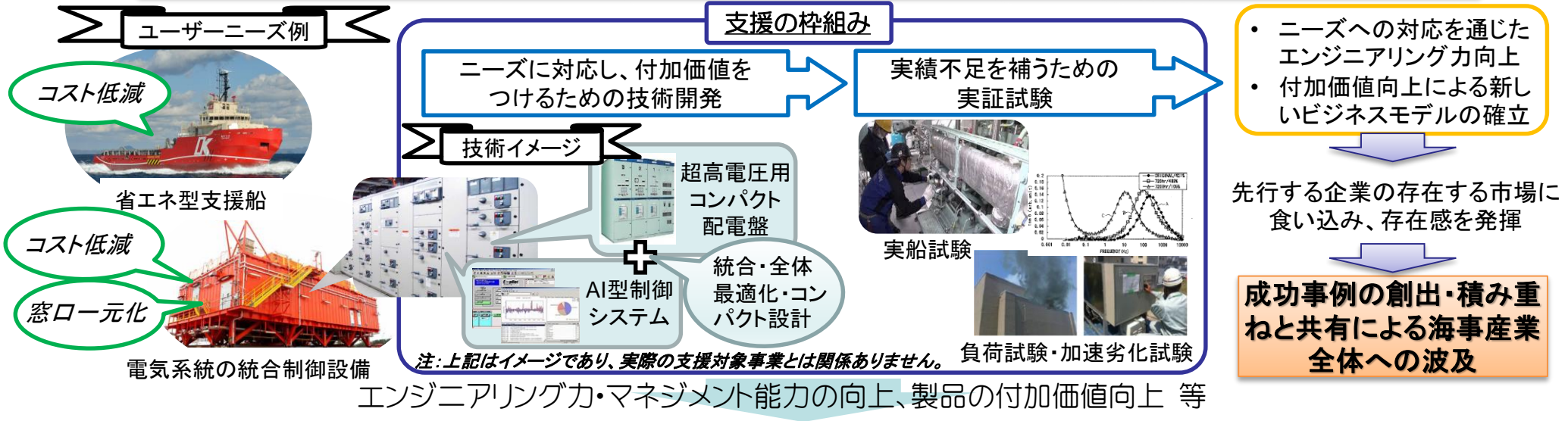
○海洋開発分野では**多くの船舶が用いられる**ため、海事産業にとって重要

○1隻当たりの**受注金額**やそれに占める**設計費の割合が高く**、技術力に優れる企業にとっては魅力的。

●現状、我が国の関与は**限定的**。

エンジニアリング等の付加価値の高いビジネスにつながる技術を身につけ、ビジネス拡大を図ることが重要

パッケージ化、低コスト化に貢献する製品等の製品化に向けた技術開発を支援(補助率1/2)



我が国海事産業の海洋開発分野における競争力強化及び産業構造の変革